

## 落花生のカルテック施肥例

(10アール当り)

時期	方法	資材
地力作り	なるべく早い時期に	<b>ラクトバチルス 600g</b> … 乾燥しにくく、適度に湿った、肥沃な土を作ります 土が膨軟で、子房柄が地中に侵入しやすくなります <b>堆肥 500kg(以上)</b> <b>硫安 10kg (~20kg)</b> ※もし通常の複合肥料なら、チツソ成分: 2~4kg ただし緩効性肥料は使わないこと。 ※特に堆肥不足で、砂地の痩せた土の場合は 硫酸カリ10kg追加
整地時	整地時に全面散布	<b>畑のカルシウム</b> (または カルテックCa粒状) <b>40kg (~60kg)</b> ※土壌pHによって、どちらかを選択してください。 pH5.5以下にならないように注意して下さい。 ※ラッカセイのサヤの発育には 多量のカルシウム栄養が必要です
(4~5月) 播種時	播種後の灌水の時に	<b>濃縮酵素液</b> (500倍以上で) 灌水 … 初期の根張り促進
(5月末) 発芽 ~ (6月末) 開花前 【初期】	生育の調節に 葉面散布 (または灌水) 特に効果的	中耕 (除草もかねる) の頃、状態によって下記のいずれかを行います。 7~10日間隔で、両方を(交互に)散布するのが 最良です。 ①生育が弱く、根が悪い場合 <b>濃縮酵素液</b> 500倍液を葉面散布 (または2リットル灌水) ※初期にチツソが効きすぎるのは避けて、酵素で根を強くします。 ただし、明らかにチツソ不足の場合は 硫安10kg散布。 ②茎葉が過繁茂の場合 <b>カルテックCa液状</b> 500倍液を葉面散布 (または2リットル灌水) ※花芽が確実に強く付くためには、カルシウムが必要です。
(7~8月) 開花中	葉面散布 (または灌水) 特に効果的	①花を次々と強く付け、サヤと子実を充実させるために… <b>カルテックCa液状</b> 500倍液を葉面散布 (または2リットル灌水) <u>開花始めから、半月ごとに。</u> ※開花、サヤの形成、豆粒の肥大には カルシウム栄養が最も大切です。 ※黒渋、褐斑対策にも カルシウムを。 ②生育の衰弱、ツルの先端が細くなる、子房柄の伸びが悪い場合は… <b>濃縮酵素液</b> 500倍液を葉面散布 (または2リットル灌水) ※開花~後半には 決してチツソを効かせすぎないように注意。 土壌EC:0.2まで。
仕上げ	収穫前20日頃、葉面散布	<b>カルテックCa液状</b> 500倍 …豆に脂肪を増やし、重量を増す

(大粒種の露地またはマルチ栽培基準)